



【令和5年度 新人戦】

## 特集 発見！星城 さらなる高みへ 星城剣道部

**学校法人 名古屋石田学園**  
〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32  
TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003

 星城大学・大学院

 星城高等学校

 星城中学校

 星の城幼稚園

 専門学校星城大学リハビリテーション学院

 名英図書出版協会

 法人本部事務局



# さらなる高みへ 星城剣道部

【大学・高校剣道部合同稽古】



ひがし よしみ  
東 良美  
星城大学剣道部師範  
剣道 範士八段

全日本剣道連盟  
第19回 世界剣道選手権大会  
日本代表チーム 男子監督

○指導にあたり心がけていること：

「正しい剣道を学ぶ」ことが大切です。剣道は基礎・基本をしっかり学び、相手を敬う礼法ができること。技を決めた時は省みて、打たれた時は至らぬ点に気づき感謝する「打って反省、打たれて感謝」の言葉を胸に指導にあたっています。

○指導者として今後の目標・ビジョン：

大学生（四段）・高校生（三段）の段位取得。そのために日頃から基本に正しくあるよう指導する。星城大学には稽古に訪れてくれる方が多くいます。「周りの人から応援してもらえる星城大学」、その応援を力にさらに「勢いをつけた剣道」を、稽古する事で交剣知愛を求め、目指します。

星城大学・星城高等学校の剣道部がともに大躍進を続けています。10月28日（土）、星城大学体育館で行われた「名古屋石田学園 大学・高校剣道部合同稽古」取材しました。約100名による合同稽古は壮観であり、体育館に響き渡る気迫溢れる掛け声と竹刀の音に圧倒されました。星城剣道部の取り組みや魅力、強さの秘密に迫りました。

## 星城大学剣道部

東先生指導のもと、正しい剣道をすること。  
誰が見ても恥ずかしくない剣道で勝つこと。

剣道部は朝稽古を基本としています。朝、早く起きて稽古に参加する。日々の稽古では、素振り→打ち込み・切り返し→地稽古→かかり稽古を積み重ねます。徹して逃げない、中心を取って、一本を取り切る剣道。やるからには、皆が課題を持って取り組みたい、先生の指導を受け、言われたことを徹して稽古する、その一日一日が自分を作ってきました。

4年次には主将を任せられ、東海大会で優勝し、全国大会に勝ち上がることを目指しました。個性豊かな部員をまとめ上げるには苦労がありました。それでも皆で同じ目標に向かい、心を一つにして頑張りたい。自分にできることは、「自分を持つことの大切さ」を示すこと。「やるべきことをやる」「人に流されない」そんな自分であり続けること。自身が手本となり、生活のリズムを整え、休まず基本に徹しました。全国大会では「自分を持つ」ことの難しさと厳しさを痛感しました。

### 柴田主将にインタビュー！

しばた こうさく  
柴田 耕作  
星城大学経営学部 4年  
星城大学剣道部男子主将



大学生の部活は、自主的に行うことが大事になってきます。普段の生活や部活の取り組みがそのまま自分に返ってきます。東先生は「足」「左手」とよく言われます。土台がしっかりしていなければならない。人生も同じです。4年間で自分の土台を作ってきました。自信を持って次のステージに進んでいきます。

○部員数	男子 34名 女子 20名 計 54名
○大会戦績	男子 西日本大会 ベスト8 東海大会 2位 (2年連続全国出場)
	女子 全国大会 3位 東海大会 1位、3位 (3年連続全国出場)
	学生東西対抗 2年連続出場

## 星城高等学校剣道部

「星城の剣道は自分で考えて稽古する」  
この稽古スタイルが星城の剣道を強くしている。

稽古では、新陰流からきている「三磨の位」を礎とし、「学び（習い）」→「稽古」→「工夫・研究」の過程を繰り返していきます。師から学び、そこから理合（自分の中心軸がぶれずに相手の中心軸を崩す）の稽古を重ね、それを活かす時間を設けていく。そして再び学びに戻る。この循環が大切であり、特に打ちたいというだけで自分勝手に技を打ってしまう、そういった自分の癖（我欲）をとっていき稽古を実践しています。

試合に出場しない部員も含め、全員が同じ方向に向かって稽古に取り組んでいます。上級生が率先して稽古に取り組む姿勢は、下級生を導き、日々切磋琢磨しています。

星城の「正しい剣道」の教えは、剣道だけでなく、日常生活において磨き上げられた心が、いい技へ導くというもの。技を磨くだけでなく、心を磨くことも大切にしています。

現在、最難関の八段審査\*に合格した関屋猛久先生（星城高校・平成元年度卒）と外山浩規先生（星城高校・平成4年度卒）のお二人はじめ、星城OBの方々少年剣道の指導に携わっています。星城の剣道の教えは次世代へと継承され、裾野が広がっています。（お話：上山監督）

○部員数	男子 36名 女子 17名 計 53名
○大会戦績	男子 令和4年度 インターハイ 団体ベスト16 個人ベスト16
	女子 令和4年度 インターハイ 個人3回戦進出
	令和5年度 東海大会 個人2位
	令和5年度 全国選抜大会 男子・女子ともに出場

\*八段は、剣道の最高段位。  
八段合格には、風格、品位などが審査される。

## 大学・高校剣道部 合同稽古

合同稽古では、高校生にとっては、すぐ目の前の大学生に数年後の自分の姿を重ね、目標に向かって取り組むことができる一方、大学生にとっては、高校生から数年前の自分の姿を思い出し、一步目線を下げ寄り添って指導することができる。互いが学び合う相乗効果が生まれました。

来年度、剣道部には星城高校から星城大学へ進学する生徒が7名います。高校大学と7年間、一貫した指導が受けられます。

星城剣道部が誇る指導陣のもと、これからも星城大学・星城高校剣道部の活躍に期待が高まります。

## 星城剣道部ご紹介 大学



せきや たけひさ  
関屋 猛久  
星城大学剣道部男子監督  
剣道 教士八段

○指導にあたり心がけていること：  
剣道の「楽しさ」「厳しさ」を伝えること、剣道を好きになってもらうことを一番に心がけています。そして、剣道を通じて体力・精神力を鍛え、人間力を高めて社会に貢献できる人材の育成に努めています。

○指導者として今後の目標・ビジョン：  
東海学生剣道大会（個人・団体）優勝、全日本学生剣道大会（個人・団体）上位入賞という目標を掲げ、部員と一緒に稽古をし、汗を流して「楽しく」「厳しく」目標に少しでも近づけるように、また達成できるように、日々稽古の気持ちで頑張っています。



ひびの えつこ  
日比野 恵津子  
星城大学剣道部女子監督  
剣道 七段

○指導にあたり心がけていること：  
良いものをさらに良くする、個性は個性で伸ばす、そこに先生方の指導が加われば、実力が付き、実践で発揮することができます。一人ひとりが持っている力を引き出せるよう、サポートすることを大事にしています。

○指導者として今後の目標・ビジョン：  
学生が自分達で目標を描き、達成する為の行動を考えられること。それぞれの立場を意識し、役割をもって活動できるようになってもらうことが目標です。「星城大学を卒業した」と胸を張って言えるような剣道部を学生達自身で作り上げていって欲しいです。

## 星城剣道部ご紹介 高校



うえやま としひろ  
上山 敏広  
星城高校剣道部男子監督  
剣道 教士七段

○指導にあたり心がけていること：  
尊敬する武道の先生である宇城憲治先生から教えていただいた「進歩・成長とは変化することである。変化することは深さを知ることである。深さを知るとは謙虚になることである。」と、いつも心に刻んでの精神を心がけています。

○指導者として今後の目標・ビジョン：  
我をなくし、人に寄り添うことのできる人間の育成、この一言です。



せぐち ともみ  
瀬口 智美  
星城高校剣道部女子監督  
剣道 六段

○指導にあたり心がけていること：  
星城高校時代、恩師の畠中公夫先生にご指導いただいた基本を大切にすること、真っ向勝負、相面で勝てる技術を身につけるとともに、剣道の理念である、剣道を通して人間形成をしていくことを心がけています。

○指導者として今後の目標・ビジョン：  
地元、愛知県の選手を大切に、愛知で育った剣士を全国に通用する選手に育て、チーム愛知として全国で活躍していく。そして、愛知の剣道レベルを上げていくことを目標としています。

10月14日(土)・15日(日)に、大学祭「星祭」を東海キャンパスで開催しました。今年度のテーマは「笑顔～取り戻せ!輝く青春～」。

やっとコロナ禍も落ち着き、イベントが動き始め、マスク着用での開催となった昨年度。今年度は学生や地域の子もたちの笑顔が、よりたくさん見ることのできる大学祭を目指し、大学祭実行委員会では準備を進めてきました。

来場者は両日で約2,400名と、多くの地域の方に参加いただきました。昨年度好評だった地域住民による手作りマルシェには、さらに多くの出店者を迎えることができました。また、スリムクラブ、しずる、ハイキングウォーキングによる芸人お笑いライブ、学生による模擬店やキッチンカーフェス、企業のブース参加、東海市とのスポーツ分野でのイベント企画、学部・分野ごとの企画展など、産学官と地域が一体となって大学祭を盛り上げました。



【賑わうキッチンカーフェス】



【子どもたちがスポーツチャレンジ!】



【手づくりマグネットに挑戦!】

【左上：留学生による民族舞踊  
左下：大盛況!模擬店】

さらに今年度は「コロナ禍を経て、どのようにイベントや観光をたくさんの方々に伝えていくか」がカギになると考え、新しい取り組みとして、インフルエンサーの喜屋武さんにご協力いただき、学生たちが出演するショート動画「恋する星祭」(大学祭開催告知)を撮影してInstagram、TikTokに配信しました。大変反響が良く、星城大学をこれまで知らなかった方々に知っていただくことができました。また、大学祭当日の様子も動画にまとめ、後日配信予定となっています。皆さま是非ご覧ください。



# 学園アラカルト Part.1

3年以上続いた新型コロナウイルスへの対応が変更となり、今春、感染症法上の分類が5類へと移行されました。各学校ではようやく、制限のない文化祭・体育祭が開催され、元気はつらつとした学生・生徒・園児たちの姿が見られました。今号では「学園アラカルト特別編」として、各学校の文化祭・体育祭(運動会)の様子をお届けします。

## 復活の学園祭・体育祭

### 星城高等学校

ここ数年間はコロナウイルスを懸念し、規制のもとで行われてきた学園祭・体育祭でした。今年度は規制が解除され、行事の企画はもとのとおりに、いや、過去以上の開催に至ることができました。また、保護者の方の入校も許可され、多くの応援をいただくことができました。

9月21日(木)は、刈谷市総合文化会館アイリスにて校外学園祭でした。プラスバンド部、ダンス部、軽音楽部、演劇部などの発表が行われました。夏休み前から「この日のために」と日々練習し、その努力が顕現できたことで舞台裏では、目頭を熱くした生徒も見受けられました。

午後は、韓国のダンスユニット「D-ONE」、そして吉本興業所属の芸人「おかずクラブ」と「エブリバディー」の皆さんによる本物のエンターテイメントを楽しく鑑賞しました。

22日(金)の校内学園祭では、飲食バザーも復活し、活況を呈していました。



【復活!模擬店】



【たくさんの声援と笑顔の体育祭】



【学園祭では練習の成果を発表しました】

体育祭は10月19日(木)、プログラムに「追いかけ玉入れ」競技が新たに加わりました。オフェンスとディフェンスのバランスが問われる競技で、チームの考えが結果に現れる魅力がありました。一方、星城伝統の部活動対抗リレーや男女の騎馬戦など、以前からあるパワー系競技はさすがに健在で盛り上がりました。

## 感謝祭「築け星の城」 / 体育祭「学年の垣根を越えた団結力」

### 星城中学校

9月16日(土)に感謝祭を実施しました。今年のテーマは「築け星の城」。午前は中学校舎で作品展示、午後は石田記念館で器楽発表、クラス発表、部活発表を行いました。

テーマの「築け星の城」とは、昨年度30周年を迎えた星城中学校の先輩たちが築き上げてきた「石垣」の上に、自分たちが立派な「城」を築きたいという、先輩たちに対する「感謝」と自分たちの「挑戦」を表したものです。

テーマに込められた思いそのままに、コロナ禍での制約から解放された生徒たちは、新しい感謝祭の形に取り組みました。プレゼンだけでなく、演奏、劇、ダンス、ビデオ上映ありと多彩な発表に挑戦しました。生徒たちの成長が感じられる感謝祭となりました。



【渾身の作品をお披露目しました】

10月21日(土)に体育祭を実施しました。体育委員の生徒が中心となって、競技種目決めから当日の運営まで行いました。

当日は、学年の垣根を越えた「風神」「雷神」2チームに分かれ、競技に取り組みました。コロナ禍の制約が緩和されたことで、生徒たちはリレーや障害物競走、綱引きなどの競技を全力で楽しむことができました。最後まで諦めずに走り切る姿、自分のチームのために一生懸命に声援を送る姿は感動的でした。



【ソーラン節大成功でした!】



【英語劇を上演しました】



【全力で駆け抜けました】

また、演舞として「ソーラン節」を全校生徒で踊りました。全員がお揃いの衣装を身にまとい、息の合った元気なかけ声とともに迫力ある演舞を披露することができました。

団結力と一体感が高まる素晴らしい日となりました。

## 大きな声！元気いっぱいの運動会

星の城幼稚園

晴天の10月14日(土)、星城高校「明德館」で運動会を行いました。

第1部の満3歳組・年少組の子どもたちの中には、初めての運動会の子もいましたが、先生や友達と一緒に楽しく踊ったり、「かけっこ」をしたりしました。「かけっこ」では一人ひとり名前を呼ばれると「はい！」と返事をして元気よく走りました。

年長組の子どもたちは「ソーラン」「ソーラン」と大きな声を出して「ソーラン節」を踊りました。今年の運動会はコロナ後であり、声を出しての応援が解禁され、クライマックスの「リレー」では大きな歓声が上がりました。



【いっとうしょう体操】

【「がんばれ」の応援にこたえます！】



【せーの！みんなで力を合わせて綱引き】

教職員はこの運動会の結果だけでなく、過程を大事にしてきました。特に年長組では何度も競い合っ、負けて悔しい思い、勝つうれしい思いを味わい、クラスの仲間と作戦を練ったり、走る順番を考えたりして当日を迎えたのです。

年中組はダンスの隊形移動に初めて取り組みました。「お引越したよ。」の声で自分の行く場所を一人で探します。担任の先生に認められるとまた力が湧いて、何度も繰り返していました。

子どもたち一人ひとりが様々な力をつけて臨んだ運動会でした。そんな子どもたちを保護者の方にもしっかり認めていただくよう、話をして運動会の幕を閉じました。

# 学園アラカルト Part.2

## 絆をつなぐ体育祭

星城大学リハビリテーション学院



【毎年盛り上がるバレーボール競技！】

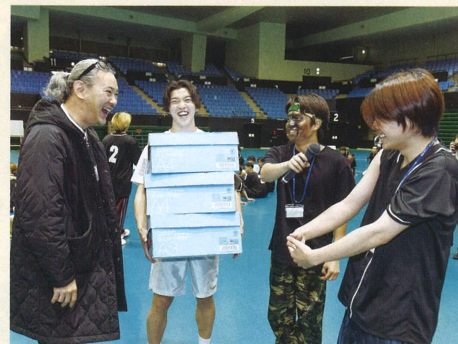


【アリーナでの応援を解禁しました！】

10月13日(金)に愛知県体育館にて、I部・II部の1・2年生が参加し体育祭を開催しました。今年度は、例年盛り上がるバレーボールやリレーに加え、段ボール借り人リレーなどの新競技を含めた全7種目で得点を競いました。特に大縄跳びでは、クラスの半数以上が競技に取り組み、連続で跳べた最高回数を競いました。学生会が主体となって考えたすべての競技には、学年を超えた絆が深められる工夫がたくさん盛り込まれており、白熱した試合や、学生一人ひとりの楽しそうな表情を見ることができました。

また、前年度までは感染症対策として、マスクの着用、観客席での応援に限られましたが、新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことにより、アリーナでの応援を解禁しました。競技をしているチームメンバーを近くで応援する姿は、楽しそうとても生き生きとしていました。

学生たちのきらきらとした笑顔や競技に真剣な表情を見ることができ、元の日常がようやく戻りつつあると実感しました。この体育祭で培った絆を今後の学校生活にも活かしていきましょう。



【借り人リレーでお題に沿った人を見つけます】

## クローズアップ

### シリーズ Vol.2

学校法人  
名古屋石田学園

## 役員

名古屋石田学園を支えていただいている役員(外部理事・監事・評議員)の方々を三回シリーズでご紹介してまいります。シリーズ第二回目となる今回は、谷口正明理事、小島教彰監事、堀内ちほ評議員の三方に、名古屋石田学園の魅力と今後期待するものについて伺いました。



名古屋石田学園  
谷口 正明 理事  
株式会社 正文館書店  
代表取締役会長



名古屋石田学園  
小島 教彰 監事  
株式会社 中京銀行  
取締役専務執行役員



名古屋石田学園  
堀内 ちほ 評議員  
豊明市議会議員

### — 自己紹介

株式会社正文館書店の代表取締役会長を務めます谷口正明と申します。学園とはご創設以来、私の祖父の時代からお取引を頂いております。

昭和29年生まれの私は「昭和の小言幸兵衛」を自任しており、残りの人生を、変えてはいけないものを守ることに注力する覚悟です。

### — 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

名古屋石田学園の魅力は「建学の精神」にあり、それを明確に打ち出しておられることだと考えています。石田学園は、単に情報や知識を習得するところではなく、智慧すなわち生き方を学ぶ学園です。

初代から二代へと堅固に受け継がれてきた「建学の精神」を礎に、第三代が熱いリーダーシップを発揮され、これからの日本を担う世代の育成に大いなる貢献をされますよう期待致しております。

### — 自己紹介

銀行員(旧東海銀行)として、初めて支店長を拝命した時の、大切な取引先が名古屋石田学園でした。星城大学の開学の時期であり、当時は最先端のパソコンによる遠隔授業の様子に驚いた事を、今でも覚えています。

企業分析や財務の知見を活かしつつ、新しい学びも得て、監事として学園の健全な発展のお役にたきたいと思っています。

### — 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

建学の精神が、お題目でなく、創立者の「想い」とともに、学園全体に、学生の身近に、常に行きわたって発信され、受け継がれている事で、人として大切な「根っこ」から確り成長できる教育が貫かれています。それが、今も様々な分野で活躍され、世の人に夢や喜び、希望をもたらしている多くの卒業生を輩出してきました。

変化のスピードが益々速くなるであろうこれからの世界にこそ必要とされる、豊かな人間性を持つ人が育つ環境を、大切にしたいと思います。

### — 自己紹介

私が初めて外国人の友人を持ったのは高校1年生。彼女との出会いは星城高校でした。キレイな金色の髪に青い瞳の、少しおかしな日本語を使うオーストラリアからの留学生との出会いから、私は外国に興味を持ちました(彼女は現在、医師として活躍中)。

その気持ちは今も変わる事なく、豊明市議会議員(2期目)として「誰ひとり取り残さない普通にらせるまち」を目指し、女性ならではの視点で外国人の方々とも関わらせて頂いています。

### — 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

SGL活動での探究的な学びは、グローバルな視点での学びからローカルな地域課題解決へと繋がります。学園の活動の1つに豊明市にある「前後駅」の美化活動(花飾り)があります。生徒さんと地域の高齢者が共に花植えをし、共に花を育てる「地域協働」を通し、様々な学びがあると、私も参加させて頂いている事業です。

現場で見る生徒さんの一生懸命に働く姿、高齢者を労わる優しい精神は学園の「建学の精神」の学びではないでしょうか。微力ながら私も学園と携わり、生徒さんと共に成長させて頂きたいと期待しています。

◆ 専門学校 星城大学リハビリテーション学院 三宅わか子 先生

このたび、6月4日より愛知県理学療法士会の代表理事に就任されました。これからも理学療法士学界の向上と発展のため、益々のご活躍を期待しております。誠にありがとうございます。



◎ 卒業生の活躍 ◎ **星城高校から 2人目！プロ野球選手誕生！**

10月26日(木)に行われた「プロ野球ドラフト会議」で星城高校卒業生の石黒佑弥さん(22)が阪神タイガースから5位指名を受けました。

3年生在籍時の夏の甲子園予選愛知県大会で、全国選抜大会優勝の東邦高校と対戦しコールド勝ちを果たしたときの投手です。卒業後は社会人野球チームのJR西日本に所属し、ここでの活躍を高く評価されたようです。星城高校から二人目のプロ野球選手誕生となります。

野球部顧問の先生と3年時担任の先生に取材し、石黒選手について語っていただきました。



【左：阪神 山本スカウト 右：石黒投手】



＜野球部顧問の先生＞

仲間を大切に、高いコミュニケーション能力が認められました。能力的には誰がみても秀でていたことに加え、自ら努力していました。厳しいメニューでも、前向きに捉えてこなす姿勢が仲間にも影響し、チーム全体が向上していきました。

＜担任の先生＞

野球のことだけでなく、勉強も行事も掃除も、どのようなことにもしっかりと取り組んでいました。評定平均は4点台の良好な成績を修めていました。

石黒投手が甲子園球場のマウンドで活躍する日を楽しみにしています。



**世界で活躍する剣士**

不動心剣道クラブ師範 Brett Smith さん

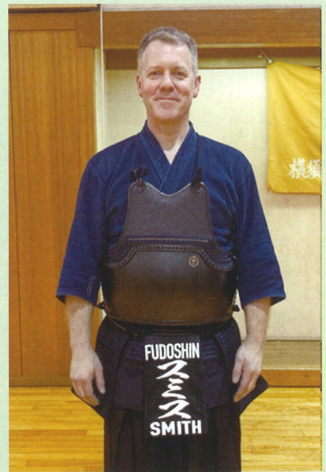
11月9日(木)、ブレット・スミスさんが星城高校へ来学されました。

ブレットさんは1988年、星城高校に1年間留学。その際本校剣道部に所属し、正しい剣道の教を学ばれました。オーストラリア帰国後は、本校剣道部の部訓「不動心」をとり、メルボルンにて「不動心剣道クラブ」を設立されました。

世界剣道選手権の選手・監督を歴任され、オーストラリアでの剣道普及と発展に貢献されています。

「富中公夫先生(当時の星城高校剣道部監督)の下、星城高校で学んだ正しい剣道が、今でもいきている。感謝します。」と、謙虚な姿勢で剣道の稽古に取り組み続けておられます。海を渡り、星城の剣道の教が伝承されています。

※11月11日(土)、剣道七段審査(名古屋審査)に見事合格されました。



**星城懇話会 会員募集中!**

星城懇話会では、教育的・文化的な分野を中心に年間通して事業を開催し、様々な事業を通じて、会員の皆様の交流や啓発、地域貢献を行っています。今後も楽しく魅力ある事業を企画してまいります。

＜星城懇話会事務局＞(学校法人名古屋石田学園法人本部内)

〒476-8588 東海市富貴ノ台2-172 TEL 052-689-6002 FAX 052-689-6003

MAIL konwakai@seijoh-u.ac.jp



[web サイト]